

令和3年7月1日

苫小牧市長
岩倉 博文 様

北海道社交飲食生活衛生同業組合
苫小牧地区本部長 高橋 憲司

新型コロナウイルスワクチン優先接種に係る要望書

平素は、社交飲食業の発展のために様々な形でご尽力いただいていることに感謝申し上げます。

社交飲食業は、市民生活と地域経済にとって重要なインダストリーであり、市民の健康を維持していくために必要な「食」の提供や、心を豊かにするための「空間・サービス」の提供等を通じて、市民の幸せや、接待交際・親睦を促進する役目を担い、各店衛生施設の改善及び向上、公衆衛生の向上及び増進に資し、自覚と責任を持って市民の皆様安心して利用いただける社交飲食業の事業継続に努めているところです。しかしながら、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、既に事業自粛要請がトータルで1年近くも続き、国等の政策により資金調達が容易なものの、融資返済には事業活動の再開が出来なければ廃業者が後を絶たなくなってしまうことは明白です。

今般、新型コロナウイルス感染症のワクチン接種に関し、職域接種の途が開かれたところではありますが、中小零細企業が9割を超える飲食業界においては、医療従事者の自前確保等が容易では無く、この職域接種を活用できない事業者が多数存在しています。

つきましては、こうした事情をご賢察いただき、飲食業者、またその従業員がワクチンの優先接種を受けられるよう、ご配慮いただきたくお願い申し上げます。